

府中市の取組をご紹介します



ほっとするね 緑の府中

府中市

新庁舎建設



外観イメージパース（敷地北東側から）

平成28年10月に完了した新庁舎建設基本設計を基に、より詳細な図面などを作成する実施設計が平成30年3月に完了しました。

「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を基本理念として、次の4つの基本方針をもとに設計を行いました。

1. 市民に開かれ、人々の多彩な活動が生まれる庁舎

「おもや」の低層階に来庁者の利用が多い部署を集約配置し、サービスを提供しやすい施設とします。「はなれ」の低層階には多彩な市民活動や市民協働を支える多目的スペース・ラウンジを計画します。また、「通り庭」に面して庁舎機能や市民協働の場を設け、市役所に訪れた人はもとより「通り庭」を散歩道にする人など、誰もが気軽に訪れやすく、多彩な活動が生まれる開かれた庁舎を計画します。



市民協働ラウンジ

2. 災害時に庁舎機能を確保できる庁舎

環境負荷低減に配慮した庁舎

大地震などの災害発生時にも行政機能を継続維持できる庁舎とします。災害対策本部関連諸室の集約化、備蓄倉庫の設置、「通り庭」を有効活用した防災広場を計画します。

そして、十分な耐震性を備え、構造方式には最も信頼性の高い免震構造を採用します。

また、環境負荷の低減や省エネルギーに配慮した環境にやさしい庁舎とするため、「自然通風」「自然採光」「高効率機器」「再生可能エネルギー利用」などの省資源・省エネ・長寿命の設備を導入します。

3. 時代やニーズの変化に対応できるフレキシブルな庁舎

庁舎内へのスムーズな動線、分かりやすいサイン計画、充実したトイレ計画により、誰もが安心して利用できる施設計画とします。

そして、執務空間は大きく広がるフレキシブルな空間とします。機能性と経済性のバランスを取りながら、多様なニーズに対応できる可変性と更新性に優れた計画とします。

4. 府中の魅力を象徴する、まち、自然と一体になった庁舎

庁舎の主たる機能を担う「おもや」と、庁舎機能を補完し、市民協働を支える「はなれ」で構成します。また、「おもや」と「はなれ」をつなぎ、市民の多彩な活動を支える場として「通り庭」を計画し、これら3つの空間が絡み合い、補い合うことで、市役所としての機能性を十分に発揮しながらも市民に開かれ、自然と一体になった、これからの時代を象徴する庁舎となります。



おもや

はなれ

通り庭

ちようかん
鳥瞰イメージパース
(敷地南西側から)

府中宿を始めとしたかつての宿場町は、まちをつなぐ街道沿いに存在し、旅籠、商店、茶屋などが軒を連ね、常に人が行き交い、にぎわいにあふれている場所でした。

府中市庁舎もまた府中駅と府中本町駅のにぎわいをつなぐ場所にあります。ここに、日常の通り道であり、また用があってもなくても立ち寄れる、常に人の活気にあふれる「現代の宿場町」のような庁舎をコンセプトとします。

ラグビーのまち府中



府中市は、東芝ブレイブルーバス及びサントリーサンゴリアスの2つのトップチームが存在することをはじめ、市民参加型のラグビーイベント等を多く実施するなど、ラグビー文化が根付いたまちです。ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック、そしてさらにその先を見据えて、「ラグビーのまち府中」がますます発展するよう、今後も様々な取組を進めてまいります。

ラグビーのまち府中デー

ラグビーワールドカップ2019のちょうど600日前となる平成30年1月28日に、けやき並木通りとフォーリス前けやき広場にて、「ラグビーのまち府中デー」を開催！

ラグビー体験コーナー、ラグビートークショー&クイズ大会を実施し、また、ラグビーのまち府中PRブースを設けました！

ボランティア・おもてなしフォーラム2018in府中

ラグビーワールドカップ2019開催の500日前にあたる平成30年5月8日に、府中市市民活動センタープラッツ「ハルトホール」にて、「ボランティア・おもてなしフォーラム2018in府中」を開催しました！

本フォーラムは、ラグビーのまち府中・スポーツタウン府中として、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、市民の皆さんがどのように2つの国際大会に関わり、どのように盛り上げていくかを考えるきっかけとしていただけるよう開催したものです。



府中調布三鷹 ラグビーフェスティバル2018

平成30年7月7日に味の素スタジアム西競技場において、府中市、調布市、三鷹市の3市が連携し、様々な団体の協力のもと、「府中調布三鷹ラグビーフェスティバル2018」を開催しました！サントリーサンゴリアスとリコーブラックラムズによる多摩川ダービーマッチが行われたほか、男子7人制ラグビー日本代表のトークショー、小学生を対象としたタグラグビー教室を行うなど、大勢の人で賑わいました！



ラグビーの力を、府中の力に！



府中の魅力を 外国人観光客にPR！



府中市では、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、今後増加が見込まれる外国人観光客をターゲットに、府中市の魅力を効果的に発信し、認知度の向上と来訪者の増加を図ることを目的に、訪日外国人に向けたインバウンド事業を展開しています。

外国人インフルエンサー



各国よりSNSでの影響力を持つ外国人インフルエンサーを招へいし、市内観光ツアーを行い海外向けに各メディアで記事を発信する事業や、フェイスブックを活用して、市内の観光情報を世界に向けて発信する事業を行っています。今年度は、大國魂神社や高安寺などのスポットを含む工程を、平成30年7月18日から20日の3日間視察しました！

外国人観光客おもてなし職員

平成30年4月1日付で、外国人観光客おもてなし職員（嘱託員）を配置しました。外国人向けの観光資源の発掘や英語版インスタグラム等の運用、観光ガイドや各種イベントでの通訳など外国人観光客の誘致促進事業に関する業務を行っています！

